

平成 **23** 年度

# 直播病害虫および雑草基本防除こよみ

● 射水市 ● J A いみず野  
● 射水市農業技術者協議会

## 直播病害虫防除

6月

●全品種

1. 6月中旬

オリブライト1キロ粒剤

(いもち病・紋枯病  
白葉枯病  
1kg/10a)

7月

8月

2. 穂揃期

3. 傾穂期

ノンブラストレボン粉剤DL  
(いもち病・ごま葉枯病  
カメムシ類・ウンカ・ヨコバイ類  
4kg/10a)

ラブサイドキラップ粉剤DL  
(いもち病・カメムシ類  
ウンカ類  
4kg/10a (収穫14日前まで))

早生  
てんたかく

2. 出穂直前

3. 穂揃期

ノンブラストレボン粉剤DL  
(いもち病・ごま葉枯病  
カメムシ類・ウンカ・ヨコバイ類  
4kg/10a)

ラブサイドキラップ粉剤DL  
(いもち病・カメムシ類  
ウンカ類  
4kg/10a (収穫14日前まで))

中生  
コシヒカリ

2. 出穂直前

3. 穂揃期

ノンブラストレボン粉剤DL  
(いもち病・ごま葉枯病  
カメムシ類・ウンカ・ヨコバイ類  
4kg/10a)

ラブサイドキラップ粉剤DL  
(いもち病・カメムシ類  
ウンカ類  
4kg/10a (収穫14日前まで))

新大正糯  
晩生  
てんこもり

●粒剤体系 果樹園地や住宅地付近のほ場での農業飛散防止対策です。

①6月中旬

②出穂5~10日前

オリブライト1キロ粒剤  
(いもち病・紋枯病・白葉枯病)  
1kg/10a

コラトップダントツ1キロ粒剤  
(いもち病・カメムシ類)  
1kg/10a

・散布後4~5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水しないでください。  
・カメムシが多発した場合はエルサン粉剤3DLで対応してください。

◆各品種の生育に応じて散布して下さい。 ◆液剤体系は営農情報等を参考にして下さい。  
◆本田基本防除剤は、農業共済組合の補助対象農薬です。水稲作付面積に応じて配達させていただきます。

## 直播除草体系 (除草効果を高めるには水管理が重要です。除草剤散布後7日間は落水しない。)

初期

中期

後期剤

通常

イネの1.5葉期(播種2週間後頃)、ノビエ2.5葉期まで

リボルバーエース1キロ粒剤 (1kg/10a)

イネの5葉期以降、ノビエ3葉期まで

ザーベックスDX1キロ粒剤 (1kg/10a)

マメットSM1キロ粒剤 (1kg/10a)

●ノビエ専用剤

ヒエクリーン1キロ粒剤 (1kg/10a)  
イネ3葉期以降、ノビエ4葉期まで (収穫45日前まで)

●ノビエ+多年生広葉雑草等

クリンチャーバスME液剤 (1ℓ/10a)  
希釈水量70~100ℓノビエ5葉期まで (収穫50日前まで)  
・落水してから散布し3~4日間は入水しない。

●クサネム+イボクサ

ノミニー液剤 (100ml/10a)  
希釈水量100ℓイネ4葉期以降 (収穫60日前まで)  
・落水状態で散布し3日間は入水しない。

出芽の  
遅い場合

(点播等)

入水直後(播種1週間後頃)、ノビエ2葉期まで

キックバイ1キロ粒剤 (1kg/10a)

イネの5葉期以降、ノビエ3葉期まで

ザーベックスDX1キロ粒剤 (1kg/10a)

イネの2葉期以降、ノビエ2.5葉期まで

リボルバーエース1キロ粒剤 (1kg/10a) (ヒエが多く残った場合)

トップガンGT1キロ粒剤5ℓ (1kg/10a) (ホタルイ、カヤツリグサ、コナギなどが多い場合)

## 畦畔・農道の除草体系 (除草に努め、カメムシ被害を防止)

◎除草剤の使用体系 (散布濃度は中圧スプレー20ℓに水和剤は50g、液剤は200ccを目安に希釈して下さい。)

12月~2月の寒い時

カソロン粒剤6.7

3月~4月

ハイバーX

5月 中旬

バスタ液剤  
ラウンドアップマックスロード(※)

カーメックス-D水和剤

7月以降

バスタ液剤 (収穫7日前まで)

ラウンドアップマックスロード(※)  
(収穫前日まで)

三共の草枯らし (収穫14日前まで)(※)

サンダーボルト007  
(収穫14日前まで)

注意事項

- 1) 作物の生育中に散布する薬剤は飛散しないようにする。
- 2) 散布後5時間以内に雨が降ると効果が劣ります。
- 3) カソロン粒剤6.7は暖かくなると効果が半減します。  
冬期に散布すると5月中旬まで雑草は生えませんが、  
またスギナの特効薬です。
- 4) (※)の除草剤はグリホサートを含む剤であり、使用回数は2回以内です。

水田畦畔 × (使用しない)

農道 ●

・カバープランツ等を積極的に導入し、環境にやさしい米づくりを実践しましょう。

農薬の使用は、基準量・使用時期・回数を守り、安全に使いましょう。